平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)

(環境ISO管理)

事務事業名	一般事務
センター名	山本自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常	非通	緊急	環境側面	影響評価						
時	常時	事態	承光 関田	1	2	3	4	5	6	環境側面
0			紙の消費	×	×	×	×	×	_	
0			廃棄物の発生	×	×	×	×	×	0	
0			電気・ガスの消費	×	_	×	_	×	_	
0			灯油・ガソリンの消費	×	_	×	×	×	×	
0			庁舎緑化管理	0	_	0	0	_	_	
0			グリーン商品の購入	0	0	0	0	0	_	
		0	建物火災	×	×	_	_	_	_	·
		0	地震による建物倒壊	×	×	_	_	_	_	

【作成上の注意】

- 1 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非通常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 2 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 3 影響評価は、1:典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2:廃棄物発生/抑制、3:地球温暖化の進行/抑制、4:自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5:資源の枯渇/保全、6:その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 4 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 5 影響評価の結果の表示は、良い影響大:○○、良い影響小:○、影響なし:-、悪い影響小:×、悪い影響大:××と表記します。
- 6 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと	要求事項					
期待のうち順守すると決定したもの	ANT X	中間	年間			
温室効果ガスの抑制	適切な購入、環境整備	0	0			
施設の管理	防火管理者の選任	0	0			
施設の管理	指定管理施設含む消防用設備の点検(1回/年)及び結果報告	_	0			
施設の管理	避難訓練計画の届出及び訓練の実施(1回/年)	_	×			

- 1 順守評価が必要なものについて記載します。
- 2 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 3 順守評価結果は、良:○、否:×、期間中に要求事項に該当する内容なし:-で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	
機 会 (プラス要素)	

4 環境目標

	永児		600-138	I 00 = 7 /m		<u> </u>	
		環境目標	年間スケジュール	中間評価		年間評価	
番号	区	①実施事項(何を)	777 14 C 17 14 C 1 1 1 C	3// lik lib 500 15 000	達	2// lik lik 200 15 ED	達
号	分	②達成期限(いつまでに)	環境目標達成のための 手段・方法・手順	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	成 状	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	成状
		③結果の評価方法(どのような水準に)	312 332 370		況	(m) 100 mm 1 mm	況
	1	事務室環境	夏季は、事務室の東側にア サガオによる緑のカーテンを	夏季は、事務室の東 側にアサガオによる		事務室内にて冬季暖 房使用時に加湿器2	
1	2	特に夏季、冬季	設置し猛暑残暑を抑え、冬季暖房使用時には加湿器を使	緑のカーテンを設置 し猛暑残暑を抑た。	0	機を使い感染症予防に努め予防となった。	0
	3	快適環境を目指す	い感染症予防する。				
	1	紙の消費を	印刷ミスの抑制、適正な会議 資料作成、裏紙利用の励行	印刷ミス抑制、適正な 紙の使用に努め、裏		印刷ミス抑制、適正 な紙の使用に努め、	
2	2	年度末までに	により紙の削減を図る。ま	紙の使用の励行、輪 転機・複写機の適正	0	裏紙の使用の励行、 輪転機・複写機の適	0
	3	削減に努める	利用に努める。	使用した。		正使用した。	
	1						
3	2						
	3						

平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)

(環境ISO管理)

事務事業名	森林、里山他環境整備事業
センター名	山本自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常	非通 常時	緊急	聚急 環境側面 影響評価 ************************************							著しい 環境側面
時	常時	事態		1	2	3	4	5	6	環境側面
0			財産区森林作業	0	_	0	0	0	_	
0			杵原等広場環境整備	-	_	_	0	_	0	
0			里山整備事業	1	-	_	0	-	_	

【作成上の注意】

- 1 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非通常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 2 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 3 影響評価は、1:典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2:廃棄物発生/抑制、3:地球温暖化の進行/抑制、4:自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5:資源の枯渇/保全、6:その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 4 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 5 影響評価の結果の表示は、良い影響大:○○、良い影響小:○、影響なし:-、悪い影響小:×、悪い影響大:××と表記します。
- 6 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと		順守	評価		
法令、例規、利害関係者のニーズと 期待のうち順守すると決定したもの	要求事項				
		中間	, ,,		

- 1 順守評価が必要なものについて記載します。
- 2 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 3 順守評価結果は、良:○、否:×、期間中に要求事項に該当する内容なし:-で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	
機 会 (プラス要素)	フジバカマ植樹によるアサギマダラの飛来、広場管理による不法投棄の予防・コミュニティーの確保

4 環境目標

	* 20.1	環境目標	年間スケジュール	中間評価		年間評価	
番号	区分	①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	環境目標達成のための 手段・方法・手順	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成状況
	1	財産区内の森林	地区財産区のみでは4~6	地区財産区(5 回)4/14·5/18·6/15·		前期同様に、枯木伐 採、下刈、林道の整	
1	2	秋頃までに	月、区財産区のみでは5·6 月、合同で7~9月に合同作	8/10・9/14、区財産 区(4回)5/28・6/17・	0	備等実施。地区財産 区(2回)10/15・	0
	3	支障木の伐採、作業道の整備等延べ8回実施	業	7/30・9/16実施		10/19、区財産区(1	
	1	杵原等の広場	杵原広場の除草(2)・フフジ バカマ植栽等(3)、なかよし	杵原広場の除草 (8/27)・フフジバカマ		11/12一斉に杵原広 場の除草、なかよし	
2	2	秋頃までに	広場除草(2)・おひさま広場 除草(1)、老人福祉センター	植栽等(4/30・ 6/18)、なかよし広場	0	広場除草、老人福祉 センター周辺除草を	0
	3	除草、フジバカマ植栽延べ7回実施	周辺除草(1)、名入福祉センター	除草・おひさま広場除 草(7/16)		実施	
	1	里山整備	城山道、久米街道、清内路			10/8に城山道、久米 街道、清内路街道、	
3	2	10月頃	街道、青木地籍、高鳥屋山 の除草			青木地籍、高鳥屋山 の除草を実施	0
	3	除草作業1回実施	の味早		/	121/21/22/20	